

見守り支援システム「眠り SCAN」「眠り SCAN eye」導入について

このたび、淀川老人保健施設けあきのもりではパラマウントベッド株式会社が提供している介護ロボット『眠り SCAN』及び『眠り SCAN eye』を施設内の居室（90室）（2024年3月～）に導入いたします。

今回、新しい見守り支援システムを導入することで、眠りの質の向上や転倒・転落事故等を減らし、入所者さまが、安心して施設で暮らしていただけるように、より安全な環境を提供し、ご入所者にとっても職員にとっても、より安心できる環境を整えてまいります。



ベッドに設置するだけで
パソコンやタブレットに
リアルタイムに状態が映し出されます。



体調変化の早期発見

ベッド利用中の呼吸数や心拍数、睡眠状態、覚醒、起き上がり、離床動作などご入所者それぞれの状況が“見える化”され、体調変化の早期発見が可能となります。

睡眠時の状態をリアルタイムで確認

入眠状態、呼吸、心拍数、在離床などセンサーで得られたご入所者の状態を、スタッフがパソコンや携帯端末でリアルタイムに確認します。

また、複合的な情報が各端末に的確に発信されるので、ご入所者のご自身でも気づかない体調変化を把握する助けとなります。



リアルタイムモニター



入所者・職員の負担軽減と安全な見守り

ご入所者の睡眠状況をリアルタイムに把握できるので、夜間でも効率的な見守りが可能となります。夜間巡視の際にもご入所者の睡眠を妨げることなく、緊急対応の必要性の判断など、よりの確な判断が可能になります。夜間の消灯後でも確認できるよう室内が暗くなると自動で赤外線撮影に切り替わる機能や、目的に応じて保存する映像の画質・解像度を変更できる機能を備えるなど、使い勝手の良さやプライバシーにも配慮されています。

効率的な見守りによって職員の身体的かつ精神的な負荷を軽減し、ご利用者の安全性や生活の質が向上するように取り組んでまいります。

2024年3月
淀川老人保健施設けあきのもり